

# シンポジウム「東日本大震災に学ぶこれからの環境工学」

主催：社団法人 日本建築学会 環境工学委員会

後援：社団法人 照明学会

日時：2012年3月12(月) 10:00~17:30

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

これまでの環境工学は、エネルギー供給が不足なく行われる平常時の快適性追求問題を取り扱うことがほとんどであった。しかし2011年3月に発生した東日本大震災の影響を受けて、非常時における環境工学問題、さらには平常時においてもライフスタイルそのものの変革が求められるなど、新たな課題も見えてきた。

環境工学委員会では、『震災対応住宅・建築環境WG』『震災対応都市環境WG』の2つのWGを震災後に立ち上げ、調査研究を進めると同時に、震災復興対応から今後の居住環境のあり方に関する内容まで、広く提言をまとめるよう活動を進めてきた。本シンポジウムではその途中経過を報告すると共に、これからの環境工学問題を共有する場としたい。

## <プログラム>

10:00-10:10	10分	1. 主旨説明：佐土原聡（環境工学委員会委員長：横浜国立大学）
10:10-12:50	160分	2. 都市環境WGの経過報告
10:10-10:25	15分	① WG活動報告：村上公哉（震災対応都市環境WG主査：芝浦工業大学）
10:25-10:45	20分	② 地域・都市のコンパクトデザイン：田中貴宏（広島大学）
10:45-11:05	20分	③ 地域・都市のパッシブデザイン：成田健一（日本工業大学）
11:05-11:25	20分	④ 都市生活・都市機能の維持・継続BCP&DCP：増田幸宏（豊橋技術科学大学）
11:25-11:40	15分	休憩
11:40-12:00	20分	⑤ 地域・都市のエネルギーシステムの変革No.1：奥宮正哉（名古屋大学）
12:00-12:20	20分	⑥ 地域・都市のエネルギーシステムの変革No.2：下田吉之（大阪大学）
12:20-12:50	30分	3. 質疑応答・総合討論
12:50-14:00	70分	休憩
14:00-17:20	200分	4. 住宅・建築環境WGの経過報告
14:00-14:15	15分	① WG活動報告：田辺新一（震災対応住宅・建築環境WG主査：早稲田大学）
14:15-14:35	20分	② これからの生き方・住まい方と建築環境：宿谷昌則（東京都市大学）
14:35-14:55	20分	③ 熱環境から考える「省エネ・快適-自給エネ・安全」の両立：鈴木大隆（北総研）
14:55-15:15	20分	④ 住宅・建築照明のこれから：吉澤望（東京理科大学）
15:15-15:35	20分	⑤ 節電環境下のオフィス照明：望月悦子（千葉工業大学）
15:35-15:50	15分	休憩
15:50-16:10	20分	⑥ 仮設住宅における室内空気質の実態：柳宇（工学院大学）
16:10-16:30	20分	⑦ 水環境における震災復興対策と今後の環境対策について：本郷智大（山形県立産業技術短期大学）
16:30-16:50	20分	⑧ 建築設備：高井啓明（竹中工務店）
16:50-17:20	30分	5. 質疑応答・総合討論
17:20-17:30	10分	6. まとめ

参加費：会員 2,500 円、後援団体会員 3,000 円、会員外 3,500 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日徴収）

定員：シンポジウム 200 名（申し込み先着順）

申込方法：催し物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号、E-mail アドレスを明記の上、E-mail で建築学会事務局担当宛てにお申し込みください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail : ichinose@aij.or.jp